

Accell/Oracle Release 6 (Unix) インストールガイド

インストールの前に

- ・本リリースをインストールし動作させるには、弊社発行のライセンスキーが必要になります。まず、本リリースに添付されている「**ユーザ登録書(ライセンスキー発行依頼書)**」に必要事項を記入の上、FAXにて弊社までご返送下さい。折り返し、ライセンスキーを発行致します。
- ・本リリースをインストールするには、およそ160～180MBのディスク容量が必要になります。インストールする前に、十分な空きディスク領域を確保するようお願い致します。
- ・**使用する RDBMS にアクセスする為の環境がセットアップされていることを確認して下さい。** SQLを使用してデータベースにアクセス出来ることを確認してから Accell/SQL をインストールします。データベースにリモートアクセスする場合は、ORACLE の TWO_TASK 環境変数を設定し、かつ、必要な ORACLE のデーモンを起動する必要がありますので御注意下さい。詳細は ORACLE のマニュアルをご参照下さい。

Accell/SQL のインストール

次の手順にしたがってインストール作業を行ってください。なお、作業はスーパーユーザで実行します。もし、ご不明な点がございましたら、お買い上げいただいた代理店もしくは弊社サポートセンタまでご連絡下さい。

テープからのインストール手順

以下は、テープからインストールを行う場合の実行手順です。

1. まずインストールするディレクトリ（例：/usr/asql）を決め、そのディレクトリに移ります。

```
mkdir /usr/asql
cd /usr/asql
```

2. **umask** を **000** に設定してください。

```
umask 000
```

3. テープより **tar** コマンドでリリースを読み込みます。

```
tar xvbf 20 device
```

テープドライブがリモートホストにしかない場合は以下のコマンドを使用してください。

```
remsh remote_host dd if=device bs=20b | tar xvbf 20 -
```

正常に読み込みが終了すると以下のディレクトリが作成されます。

apps	bin	install
diag	lib	include
tutorial	tutorial.sj	tutorial.jae

4. 弊社より交付致しましたライセンスキーを `install/license.key` ファイルにエディタ等で入力して下さい。もし、このファイルに入力しない場合には、インストール中にライセンスキーの入力が要求されます。

5. ディレクトリ `/usr/unify` を新規作成し、パーミッション `777` を付与します。このディレクトリ下にはインストールの実行によりライセンス情報関連ファイルが作成されます。

```
mkdir /usr/unify
chmod 777 /usr/unify
```

6. インストール・ユーティリティ `install/install` を実行します。インストール中にいくつかの質問をすることができます。

```
install/install
```

7. 以下のメッセージが出力されます。リターンキーでインストールを開始します。
なお、`x` に続きリターンキーを押下するとインストールを中止することができます。

```
Press <return> to begin installation, or 'x' to exit [<return>]:
```

8. 以下のメッセージが出力されます。リターンキーでインストールを続けます

```
Conventions used and general information:
```

```
<省略>
```

```
Press <return> to continue installation, or 'x' to exit [<return>]:
```

9. `install/license.key` にライセンスキーが入力されていない場合、ここで以下のメッセージが出力されます。

```
A ACCELL/SQL for ORACLE licensing key has not been entered in the file "install/license.key"
```

```
Select one of the following licensing options:
```

- 1) Enter license key now.
- 2) Continue installation and license the release later.
- 3) Terminate installation.

```
Selection:
```

- 1 を選択するとライセンスキーを入力するよう求めてきますので、キーボードより入力して下さい。

```
Enter your license key ('sh' for shell, 'x' to exit):
```

ライセンスキーを入力すると、確認のメッセージが表示されますので、`y` を入力して下さい。

10. 使用する漢字コードを指定します。日本語メッセージを使用する場合は、以下のメッセージには、必ず、`1` または `2` を入力して下さい。リターンキーだけを入力した場合、または、`0` を選択した場合は英語メッセージを使用する環境がセットアップされます。

```
Please choose default character code set [0:Others, 1:EUC, 2:SJIS]:
```

11. ORACLE_HOME コンフィグレーション変数が設定されていない場合、以下のメッセージが表示されます。ORACLE_HOME コンフィグレーション変数を入力してください。
確認のメッセージが表示されますので、y を入力して下さい。

Install: The ORACLE_HOME configuration variable is not set.

Install: Enter the value of ORACLE_HOME

12. ORACLE_SID コンフィグレーション変数が設定されていない場合、以下のメッセージが表示されます。ORACLE_SID コンフィグレーション変数を入力してください。

What should the default ORACLE_SID be?

13. 以下のメッセージが表示されます。メニューハンドラと Accell エンパイロメントに関する DBUTIL テーブルをインストールする場合は y を入力してください。

Do you want to install the Menu Handler and Development

Environment tables at this time? ([y]/n)

14. 以下のメッセージが表示されます。UNIFY、ORACLE_HOME、および、ORACLE_SID の設定値が正しい場合は y を入力してください。

Beginning database preparation

Beginning database preparation (prep_db4acl).

This utility will be run with the following parameters:

UNIFY: /usr/asql/lib

ORACLE_HOME: /your/oracle/home

ORACLE_SID: your_oracle_sid

Do you want to continue ([y]/n) ?

備考： Prep_db4acl により、指定したデータベースに下記のタスクを実行します。

- Accell/SQL チュートリアル の TUTORIAL テーブルを追加
- メニューハンドラと Accell エンパイロメントに関する DBUTIL テーブルを追加
- DBUTIL ビューを追加
- 2 ユーザ、TUTORIAL と DBUTIL を追加

15. 以下のメッセージが表示されます。ORACLE の DB 管理者のパスワードを入力してください。

Installing Tutorial and Menu Handler in database 'your_oracle_sid'.

<省略>

Enter the ORACLE system administrator's password:

Database Login

Username: system

Password:

16. 以下のメッセージが表示されます。n を入力してください。

Creating the 'acell' startup script....

Complete.

Creating the tutorial startup script...

Complete.

Product Option installation

Do you want to run the utility 'opts.install'. at this time? (y/[n])

17. 以上でインストールは終了です。インストール中に表示されたメッセージはすべてリリースディレクトリの `installmsg` ファイルに記録されています。

CD-ROM からのインストール手順

以下は、CD-ROM からインストールを行う場合の実行手順です。インストールを実施するマシンの OS が HP-UX の場合に限り特別な手順でインストールを実行しますのでご注意ください。

HP-UX の場合

HP-UX 用の CD-ROM では、tar 形式でリリースが提供されています。

1. まず、次の方法で CD-ROM ドライブをマウントします。

例: `mount -F cdfs /dev/dsk/c0t0d0 /cdrom`

ドライブ名と CD-ROM のマウント方法については、システムにより異なりますので、各システムのマニュアルをご参照下さい。

2. 次に上記の「テープからのインストール手順」に従ってインストールを行います。

但し、ステップ3のリリースの読み込み方法で指定する *device* は /cdrom/ASQL.TAR* と読み替えて下さい。従って、ステップ3の内容は次のようになります。大文字のファイル名の後にアスタリスク (*) を付けます。

```
tar xvbf 20 /cdrom/ASQL.TAR*
```

または

```
remsh remote_host dd if=/cdrom/ASQL.TAR* bs=20b | tar xvbf 20 -
```

HP-UX 以外の場合

CD-ROM からインストールを行う場合には、他のテープ媒体のように、いったん tar あるいは cpio よるリリースの読み込み作業は必要ありません。

CD-ROM をマウントし、そのマウントした CD-ROM のリリースのディレクトリから直接インストールプログラム(install/install)を実行します。その後は、インストーラのガイドにしたがって、インストールを実行します。

1. CD-ROM をマウントします。

CD-ROM のマウントの方法については、システムにより異なりますので、各システムのマニュアルをご参照下さい。

2. マウントした CD-ROM のディレクトリに cd します。

```
cd /cdrom
```

```
pwd
```

```
/cdrom
```

3. ls でファイルのリストを確認すると、システムによってはボリューム名が表示されますので、そのボリュームに cd で移動すると、カレントディレクトリがリリースのルート・ディレクトリになります。

```
ls
```

```
ASQL (ボリューム名)
```

```
cd ASQL
```

```
pwd
```

```
/cdrom/ASQL
```

```
ls
```

```
apps          bin           install
diag          lib           include
tutorial     tutorial.sj  tutorial.jae
```

(上記の状態、リリースのルート・ディレクトリがカレントディレクトリとなりました。)

- ディレクトリ `/usr/unify` を新規作成し、パーミッション `777` を付与します。このディレクトリ下にはインストールの実行によりライセンス情報関連ファイルが作成されます。

```
mkdir /usr/unify
chmod 777 /usr/unify
```

- `umask` を `000` に設定してください。

```
umask 000
```

- インストール・ユーティリティを実行します。

```
install/install
```

- 以下のメッセージが表示されます。 `y` を入力してください。

```
The directory /cdrom is not writeable.
Do you want to copy the release to a different location <y/n>
```

- リリースをインストールするディレクトリ名 (例 `/usr/asql`) を入力します。

```
Enter the destination (target) directory.
If the directory does not exist, it will be created for you.
Target directory:
/usr/asql
```

- 指定したディレクトリが存在しない場合は新規に作成されますので、 `y` を入力してください。

```
The target directory /usr/asql does not exist.
Do you want to create it <y/n>?
```

- 指定したディレクトリが既に存在する場合は、そのディレクトリ下の全てのファイルが削除され、インストールが続行されます。削除しても問題が無い場合は、 `y` を入力してください。削除すると問題がある場合は、 `n` を入力しインストールを中断します。必要なファイルをセーブした後で再度インストールを初めから実行してください。

```
The target directory /usr/asql already exists.
WARNING: All files will be removed from /usr/asql !
Do you want to continue the installation <y/n>?
```

- CD-ROM より、リリースがインストールされます。

```
Source Directory: /cdrom/ASQL
Target Directory: /usr/asql
Install is now copying XXX files from the unwriteable directory.
This may take a while. A dot will be printed for each file copied
```

11. 以下のメッセージが表示されます。上記の「テープからのインストール手順」のステップ7へ進んでください。

Press <return> to begin installation, or 'x' to exit [<return>]:

UPDATE-KIT のインストール

本リリースのインストール完了後、インストール先のディレクトリの下に "UPDATE" という名前のディレクトリが存在する場合は本リリースにはアップデートキットが付いています。

本リリースをご使用前に必ずアップデートキットをインストールして下さい。
アップデートキットのインストール方法につきましては該当するアップデートキット用のリリースノート、または、"UPDATE"ディレクトリの下
"README.xxxx"(xxxx はバグフィックス番号)をご参照下さい。

README.xxxx ファイル内に、「アップデートキットに対してライセンスの付与が必要」である旨の説明がある場合は対象ファイルについて `bin/instlic` を実行してライセンスを付与します。
下記に `Accell/Manager (bin/CAMGR)` にライセンスを付与する例を示します。

```
# cd $UNIFY/..  
# bin/instlic -f install/license.key bin/CAMGR
```

正常に終了した場合は、次のメッセージが表示されます。

```
License code 'XXXXXXXXXXXXXXXX' has been installed for executable 'bin/CAMGR'.
```

以上